

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	送迎保育ステーション事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保育課			
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	村山 智章			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内保育所に入所を希望している児童と保護者	意図	待機児童の解消を図ることで、保護者の就労等を支援する。
事業内容	おおたかの森駅前及び南流山駅前に送迎保育ステーションを設置し、バスで市内全域の保育所へ児童を送迎することにより、待機児童の解消を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	待機児童解消の一つの手段として、平成19年度に流山おおたかの森駅、平成20年度に南流山駅で事業を開始し、平成30年度現在、流山おおたかの森でバス6台、南流山でバス2台の合わせて8台で事業展開を繰り返している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	待機児童数	146	92	29	人	↓↓↓	
②	延べ利用数	38,019	46,976	49,291	人	→→		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 流山おおたかの森駅及び南流山駅周辺に、新設の私立保育園を整備したが申込者数の増加に伴い依然として待機児童は生じている。今後も保育所整備を進めているものである。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		75,410,904	80,395,700	84,184,370				
事業費(b)(円)		74,164,904	79,165,000	82,948,170				
うち一般財源		53,981,904	54,130,800	57,035,870				
職員給与費(c)(円)		1,246,000	1,230,700	1,236,200				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.50	0.50	0.50				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	安全管理は勿論のこと、保育の質の向上を図る。	③取組における課題(Check)	利用者数は今後も増加が見込まれる。利用者の増加に伴い、安全な移送・保育が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	・安全対策（車の点検、運転士の研修及び安全運転講習受講等）を継続した。 ・送迎バス内での園児の活動を行い、保育の質の向上に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・利用者数の動向を見ながら、今後の事業計画を検討する。 ・安全管理と保育の質の向上を図る。